

# 令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名	藤井寺市商工会	
	代表者職・氏名	会長 濱 幸一	
	所在地	〒583-0027 藤井寺市岡1-2-16	
	担当者	職・氏名	事務局長 尾松 啓祐
		連絡先	電話番号(直通): 072-939-7047
			Fax: 072-952-3118
E-mail: <a href="mailto:fujisho@f-sukiyanen.or.jp">fujisho@f-sukiyanen.or.jp</a>			
①設立年月日	昭和37年6月14日		
②職員数 (うち経営指導員数)	9名(8名)(令和3年3月31日現在)		
③所管地域	藤井寺市		
④管内事業所数	2,665(平成28年経済センサス活動調査による)		
⑤管内小規模事業者数	1,924(平成28年経済センサス活動調査による)		
⑥会員数(組織率)	1,198(44.95%)(令和3年3月31日現在)		
<input type="checkbox"/> 主な事業概要(定款記載事項等)			
<p>① 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ② 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③ 商工業に関する調査研究を行うこと。 ④ 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤ 展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥ 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑦ 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑧ 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑨ 行政庁等の諮問に応じ答申すること。 ⑩ 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 ⑪ 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑫ 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。 ⑬ 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 ⑭ 会員の為の外国人技能実習制度に基づく技能実習生の受け入れ業務を行うこと。 ⑮ 職業紹介事業を行うこと。 ⑯ 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な業務を行うこと。</p>			

<p><b>(1) 事業の目標</b></p>
<p>経営相談支援事業として巡回及び窓口で事業者の抱える課題を的確に把握し、その課題を解決するために必要となる情報の提供及び必要に応じた施策の紹介又は専門家へのつなぎ支援を行う。また、事業者の相談内容から判明する隠れた課題を見つけ出し、解消への道筋を示すなどワンストップサービスを充実させることにより、相談事業所の経営の安定、発展に寄与することを目標とする。</p> <p>専門相談支援事業として経営相談では解決が難しい高度な課題の解決を図るため、各分野の専門家による予約制の個別相談会を実施した。</p> <p>地域活性化事業として地域の求める課題の解消が見込める支援を行えるよう情報の収集と提供に努める。同時に事業を通じて地域だけでなく、対象事業者の企業自身の成長を促せるような支援を目標とする。</p>
<p><b>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</b></p>
<p>経営支援事業として月に1回発行する商工会ニュースや巡回及び窓口での指導を通じ、各種情報の提供及び周知徹底に取り組んだ。</p> <p>専門相談支援事業として事業者が抱える高度かつ複雑な課題の解決を図るため、原則として毎月1回の専門家による相談日を設け、また、相談が集中する期間には専門家を増員して対応した。</p> <p>地域活性化事業として地元事業者を中心にPRを行い、広く参加者を募った。また、活性化事業の集客増と周知徹底の相乗効果を狙い行政機関、地元大学やミニコミ誌等のマスコミと連携して活性化事業をPRした。地域活性化事業には実行委員会を設置し、参加者自身も企画・運営に参加して自らが地域活性化に関われるようなしくみ作りにも取り組んだ。</p>
<p><b>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</b></p>
<p>本市の管内は、小売業やサービス業が多くその中でも小規模事業者の割合が非常に高い。その為、経営相談事業は金融・労務・税務を中心に相談内容が多岐にわたっている。これらの相談に応じるためにも複数にわたる分野の情報を共有し、その場しのぎではなく将来に及ぼす影響まで考慮した支援が必要となっている。ここで解決できない高度かつ複雑な課題は専門相談支援事業を活用したり、直接専門家に相談するなどしてできるだけワンストップサービス対応を心がけた結果、相談者からは高い満足度の回答を得ることができた。</p> <p>地域活性化事業は、商業者を対象としたにぎわい創出と人材育成に重点を置いて取り組んだ。特に、一昨年、藤井寺駅前の核となる大型ショッピングセンターがリニューアルオープンしたことは、大型ショッピングセンターが建て替え工事の為、一時的に閉鎖されていた客の流れが戻ってきた効果があった。昨年は、コロナウイルス感染症の影響により疲弊した地域経済活性化の為、『店へ、帰ろう！』や『藤井寺応援セール（地元への愛は自粛しません！）』を開催した。顧客需要の換気に繋がったことで、一定の経済効果があった。参加事業所からは、改善点や改善方法などを自主的に考案するところもあり効果としては大きなものであった。今年度も、依然として、コロナの影響が続くと思われる。藤井寺市など各種関連機関と連携を図ることで、効果的な事業を実施ゆく予定である。</p>
<p><b>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</b></p>
<p>経営相談支援事業や地域活性化事業の利用者及び参加事業所からは、それなりの成果及び実績を残しているが、業種や事業所の立地条件などによっては利用度や参加事業所数の少ないところも見受けられる。</p> <p>この事業を通じて連携を深めた組織団体がいかに知恵を出し合うかが重要である。藤井寺駅、道明寺駅周辺の買い物客増加へ向けて、短期的な対策は講じられているものの中長期的な対策がなく、人の流れを引き留める工夫が必要となる。</p> <p>事業所からの相談も多岐にわたり、ワンストップサービスを実現するためにも職員の資質向上が不可欠となるが、新たな職員が増え相談に応じ解決までに必要となる時間が増える傾向にある。</p>
<p><b>(5) 次年度の取り組み</b></p>
<p>上記課題を解決する取り組みとして、潜在的な課題の掘り起こしと、より商工会活動の周知徹底を図るために、積極的な巡回と広報・PR活動を充実させる。特に新たな職員が相談指導に従事する場合にも、業務内容を理解し支援内容を低下させないためにも内外を問わず広報・PRによる周知に重点を置く。</p> <p>商業・駅前活性化事業であるが、内容や取り組みが浸透しつつある。参加者も、よりよく発展させるため意見を持ちよりつつある。今後も駅前を中心に活性化対策を講じるが、参加する事業主に対しても能動的に活性化対策へ関与していくよう意識改革にも継続して取り組みたい。</p>

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 藤井寺市商工会

#### I 経営相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

市内事業所うち、小売業とサービス業でほぼ半数を占め、従業員が2名以下の事業所もおよそ80%となっている。これらの小規模事業者の抱える課題を迅速に解決するため、経営指導員自身の資質の向上と各種支援機関との連携することで、当初予定していた目標数値を上回る実績を残すことができた。昨年は、新型コロナウイルス感染防止の影響により、全国的に景気が低迷し、管内の経営環境も著しく悪化した。コロナに関する経営相談が激増し、職員一丸となり、対応にあたった。

コロナに関する新しい施策が打ち出された為、緊密に各種支援機関・専門家と連携することで、日々の巡回・窓口での相談業務のうち経営指導員がこれまでの経験を踏まえても即時に回答することができない課題や、法改正などにより詳細な知識を必要とする課題を解決するために行った。金融支援では日本政策金融公庫のコロナマルケイを積極的に活用することで、財務体力を強化し、事業の安定に繋げることができた。労務支援では年金事業所や公共職業安定所、労働基準監督署などと連携を密にすることにより、よりタイムリーかつワンストップサービスでの雇用調整助成金などの情報提供・問題解決を実現することができた。

##### 【代表的な事例】

個人事業主の社会保険の任意適用に関して事業主の息子（別居）を労働者として、社会保険に加入させる為に、社会保険を成立出来る検討した。

年金事務所と折衝を試みたが、任意適用を行い加入対象者が事業主の息子のみの場合、別居ではあるが、労働者性があるかどうかは疑問点がある。現在もおそらく経営側の立場でありいずれ近い将来、後を継ぐ予定であること、申請に係る書類としては労働者の同意書が必要となること、又適用後の調査確認書類はあくまで労働者を雇用している事業所が揃えるべき書類が必要なことから、認可されることは困難であることを伝えた。

結果として、今回、任意適用事業所として届出を行うには至らなかった。カルテの内容としては、成功事例ではないが、商工会として、事業主の為に尽力したことで、納得して頂いた。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	260	292	112.3%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	7	70.0%	3
金融支援（紹介型）	支援数	20	4	20.0%	3
金融支援（経営指導型）	支援数	41	56	136.6%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	2	200.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	0
記帳支援	事業所	10	11	110.0%	4
労務支援	支援数	150	169	112.7%	4
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	0
マーケティング力向上支援	事業所	15	2	13.3%	2
販路開拓支援	支援数	20	5	25.0%	4
事業計画作成支援	支援数	20	24	120.0%	3
創業支援	事業所	1	1	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	0	0.0%	0
コスト削減計画作成支援	事業所	10	2	20.0%	3
財務分析支援	事業所	1	7	700.0%	4
5S支援	事業所	1	0	0.0%	0
IT化支援	事業所	1	0	0.0%	0
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	0
事業承継支援	事業所	5	21	420.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0	0.0%	0
フォローアップ支援	事業所	60	0	0.0%	0
結果報告	事業所	260	292	112.3%	5

#### II 専門相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

事業所から寄せられる様々な相談内容のうち、高度かつ複雑な課題に対応するためそれぞれの分野の専門家による支援を実施している。法務支援は弁護士、労務支援は社会保険労務士、金融支援は日本政策金融公庫から融資担当者を派遣していただき、毎月1回予約制による相談に応じた。いずれもアンケート調査において高い評価を得ることができている。税務相談は税理士による相談を他の相談と同様に毎月1回の予約制としているほか、確定申告時期には近畿税理士会富田林支部藤井寺地区の税理士による協力のもと、終日相談可能な環境を提供していただき、譲渡や相続、消費税の対策など事業者の関心が高い内容の相談について即時に対応できている

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律相談	継続	相談日数	12	12	100.0%	5
税務相談	継続	相談日数	32	36	112.5%	5
労務相談	継続	相談日数	12	12	100.0%	5
金融相談	継続	相談日数	12	9	75.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>地域活性化事業は、継続して実施している『ふじいでらバル』の新たな試みとして、『店へ、帰ろう!』題し、参加全店舗共通で使えるおトクな期間限定商品券事業を実施した。うまく活用され一定の評価を得ることが出来た。次にぎわい創出事業では、藤井寺応援セール（地元への愛は自粛しません!）と題し、駅周辺各商店街や各施設を巻き込み、ガラポン抽選会や金券を用いた還元祭、商店街独自のデザインが施された粗品がプレゼントされるキャンペーンなど、計6種類のイベントを行った。集客力の増加として大きく効果があった。</p> <p>人材不足の問題などを解消する為に、『女性の活躍を推進する中小企業のためのセミナー』と『若手社員のために～労働環境改善セミナー～』開催した。国が推進するキャッシュレス導入を紹介するためにマーケティングの観点からの視点を変えたセミナーを実施した。更に、多様化する労働に対応するために経営者に活用方法を知ってもらうセミナーを弁護士を講師に招き実施した。又以前より、リクエストがあったIT関連のセミナーを初めて開催した。それぞれ、受講してもらった事業所では改善に取り組みたいという回答をいただくことができた。</p> <p>令和3年度ではこれらの経験を踏まえ、販路、人事、ITや昨今話題のBCP関連をテーマにできる限り一過性のものではなく、テーマを継続して情報の提供に努めていきたい。</p>										

(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	商業活性化事業ふじいでらバル	97	81	83.5%	93.3	新規来店客が増加した店舗の割合	80	44	55.0%	5
	駅前商店街にぎわい創出事業	5	5	100.0%	84	買い物客が増加したと回答した店舗の割合	80	88	110.0%	5
○	小規模事業者向けITサポート事業	20	14	70.0%	77	セミナー実施後のアンケートで『役に立つ』と回答した割合	70	86	122.9%	5
○	女性の活躍を推進する中小企業のためのセミナー	20	14	70.0%	80	女性活躍推進のための改善を「したい」「してみたい」「する予定」などの回答した割合	70	100	142.9%	5
	若手社員のために～労働環境改善セミナー～	20	14	70.0%	87	早期退職防止に向けた職場環境改善への取り組みを検討すると回答した事業所の割合	70	71	101.4%	5
○	キャッシュレス・次の一手セミナー	20	2	10.0%	100	アンケートで『理解できた』『導入する(する予定)』と回答した割合	70	100	142.9%	5
○	2020年版働き方改革対応術	20	14	70.0%	80	アンケートで『理解できた』『改善する(予定)』と答えた割合	70	80	114.3%	5
(2) 広域事業(幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

藤井寺市商工会

事業名		商業活性化事業 ふじいでらバル															
想定する実施期間		24 年度～ 2 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	昨年度までは飲食店を中心とした販路開拓事業の呑み歩きであった。コロナ禍で従来の事業は難しく中止を検討したが、飲食店をはじめとする、小売店やサービス業などが来店数の減少、売上の激減に陥っていた。従来行っていた2日間の開催を止め、出来るだけ顧客来店が重なる密を避けて7月後半から2月末までの開催とした。また、6月時点で報道等で大阪市をはじめとする大都市の店舗の感染予防対策が取り上げられており、大都市の店舗の方が安全なのではないかという情勢があった。しかしながら藤井寺市内の店舗もしっかりと感染予防対策をしており、電車等の交通機関を使用し感染リスクを冒して藤井寺市外へ行くよりも安心安全な店舗が藤井寺市内にもあることをPRするきっかけにしたいと考えた。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	藤井寺駅・土師ノ里駅・道明寺駅周辺および藤井寺市全域の飲食店、小売店、サービス業等の幅広い店舗															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】7月18日～2月28日                  【場所】藤井寺市内全域の参加店舗                  【内容】参加店舗で使用できる600円5枚綴りの金券とパスポートを発行。さらにパスポートを参加店舗へ提示すると期間中各店舗の独自サービスを受けることが出来る。さらに、この事業へ参加するための店舗条件は①消毒液の設置②大阪府コロナ追跡システムの導入 が必須</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>市広報紙への記載、市広報板掲示、また事業を取りまとめた保存版冊子を広報紙と同時に配布した。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市広報紙への記載、市広報板掲示、また事業を取りまとめた保存版冊子を広報紙と同時に配布した。	④相談相乗	
	①府施策連携																
②広域連携																	
③市町村連携	市広報紙への記載、市広報板掲示、また事業を取りまとめた保存版冊子を広報紙と同時に配布した。																
④相談相乗																	
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	97.0	総支援企業数(実績)	81.0	支援実績率	83.5%	満足度	93.3								
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業内容変更後は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から新規来店客の獲得よりも、既存の顧客が戻ってくることをコンセプトにしており当初の目標であった「新規来店客が増加した店舗」は44%と伸びなかった。しかし、「遠のいていた客足が戻ってきた」「既存の顧客の来店頻度が増えた」「事業をきっかけに来店数が増えた」と答える店舗の割合を併せると80%となる。また、事業の一環として事業用Instagramを開設し各参加店、一店舗ずつの記事を投稿したことにより比較的若い世代にもPRすることが出来ている。																
成果の代表事例	代表指標	新規来店客が増加した店舗の割合															
	数値目標	80%	実績数値	44.0%	目標達成度	55.0%											
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度												
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)																

藤井寺市商工会

事業名		駅前商店街にぎわい創出事業						
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	藤井寺駅前北側の大型ショッピングセンターが令和元年9月から開業しており、藤井寺市内外から買い物客が徐々に戻りつつあるなかでの商店街離れが懸念されている。藤井寺駅、道明寺駅周辺を回遊する人の流れを作り出すことが重要であるとの認識を持っている。そこで、藤井寺、道明寺両地区のまちづくり協議会とも連携して市内商店街での買い物をする機会の定着を						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	藤井寺及び道明寺地区の5商店街 (道明寺天神通り商店街、ハートフル91商店街、藤井寺一番街商店街、藤井寺駅前北商店街、イオン藤井寺ショッピングセンター同友店会)						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	藤井寺応援セール(地元への愛は自粛しません!)と題し、駅周辺各商店街や各施設を巻き込み、ガラポン抽選会や金券を用いた還元祭、商店街独自のデザインが施された粗品がプレゼントされるキャンペーンなど、計6種類のイベントを行った。開催期間は令和2年10月1日～10月31日。市広報や市内全掲示板、市LINE・facebook、近鉄南大阪線の複数駅構内、各商店街などで幅広く周知を行い、案内チラシにはQRコードを読み取ることですべてのイベント詳細が見られるよう簡易HPの作成も行った。抽選グッズ等はほとんど買い物客へ手渡すことができ、金券については還元率の高さから非常に喜んで頂けた。また、商店街全体でイベントへ取り組んだことにより、普段駅周辺で買い物をしない方への宣伝にも繋がった。						
		例年1月頃に行う四天王寺大学との連携による「こよみ手帳」配布については、コロナの影響により令和3年4月1日配布となった。						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
①府施策連携								
②広域連携								
③市町村連携	事業実施にあたりその内容周知を市と連携しながら徹底的に行ったことで商店街への人の流れを増加させることができた。							
④相談事業相乗	藤井寺市商店連合会との会議を重ねることで、商店街の課題等が見つかりその具体策を話し合っている中で、販路開拓支援や労務支援など相談事業との相乗効果が図れ							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	5.0	総支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足度	84
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	駅周辺の各商店街や施設がそれぞれ独自のイベントを企画し、分かりやすい内容で混乱を招かないよう工夫しながら実施できていた。商店街の各個店は感染拡大予防対策の実施やお客様への呼びかけを積極的に行い、受け身ではない姿勢で新規顧客獲得や商店街の活性化に係る催しに取組めた。アンケート調査結果からも「買い物客の増加を感じた」と回答した店舗が8割を超えており、買い物客の足が商店街へ流れ込んでいたことがわかる。また、各商店街や施設が一体となってイベントへ取組めたことが、藤井寺市全体としてのPRや市外からの消費喚起にも繋がり、今後も継続していくべきだと意見があったことから、街全体として相乗効果で賑わうきっかけ作りができた。						
	代表指標	買い物客が増加したと回答した店舗の割合						
	数値目標	80%	実績数値	88.0%	目標達成度	110.0%		
	成果の代表事例	ハートフル91商店街については「おんがえしキャンペーン」と題し、3つのエリアでお買い物をして頂くことで独自のエコバックに入った防災グッズセットが手に入るということで、大変好評だった。商店街をまんべんなくお買い物していただくイベントシステムについても、売上が減少している店舗へのフォローとしてうまく機能していた。						
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症がまだ収束しない現状があることから、次年度については感染対策へより力を入れ、いかに新規顧客を取り入れられるかが重要である。安心できるイメージ作りとともに駅周辺商店街が賑わうための取組みを考えていく。						

藤井寺市商工会

事業名		小規模事業者向けITサポート事業							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	会社の事務を担う専属の従業員を雇う余裕のある事業所は、多くはない。又従業員も高齢化している為、ITリテラシーも高くない。必要性のあるITツールを導入することで、生産性を高め、業務の効率化や人材不足の解消に繋げる必要があった。本セミナーを受講して頂いたことで、クラウドサービスの活用方法等を理解して頂いた。無料のITツールなど受講者が直ぐに活用可能な情報を提供した。事業所においては、紹介したITツールを活用している事業所も見られる。又ハンズオンでサポートを希望されている事業所もあり、今後の事業所の成長が期待出来る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の中小企業・小規模事業者（サービス業等14社）							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ホームページ、商工会ニュースや藤井寺市の広報を用いて、周知を図った。セミナーを2月に、ITの専門家（コンサルタント）によるセミナーを開催した。クラウドサービスを中心に、説明された。具体的は、Googleツールの活用により、業務の効率化やデータ管理等のメリットに関して解説して頂き、受講者のITリテラシー向上に繋がった。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
①府施策連携		大阪府の担当者と連絡を府施策がセミナーに反映出来るよう、試みた。							
②広域連携									
③市町村連携	セミナーの案内を藤井寺市の広報に記載させて頂いた。								
④相談相乗	セミナー後に、事業者との個別相談に応じて頂いた。 (例) メールアプリケーションやシステムの設備投資に関して等。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足度	77
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	藤井寺市は、従業員の人数が少ない小規模事業者の比率が高い。会社の事務を担う専属の従業員を雇う余裕のある事業所は、多くはない。又従業員も高齢化している為、ITリテラシーも高くない。 この点、本セミナーにおいて、以下の項目を説明し、ITリテラシーの向上を図った。							
		○ クラウドサービスのメリット（変化に強い・スピード感・安くて小回りが効く） ○ オンラインミーティングの活用（時間差・距離の差・情報量の差） ○ Zoomの便利機能とGoogleのサービス活用。							
		代表指標	セミナー実施後のアンケートで『必要性を感じた』と回答した割合						
	数値目標	70%	実績数値	86.0%	目標達成度	122.9%			
成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスの活用。</li> <li>・メール機能の最適化</li> <li>・事業においてITサポートのハンズオン支援の検討。</li> </ul>								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	(課題)							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目が多岐に渡る為、学習するには、時間が短いと感じた。</li> <li>・個別質問が多くあった。</li> <li>・受講者によって関心のあるテーマに差異がある。</li> </ul> (次期以降の取組み) <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が短いと感じたので、次期に実施する場合は、テーマ絞りたいと思う。</li> <li>・事前にQAを取っておき、セミナーの内容に反映させたい。</li> <li>・希望者にはハンズオン支援を検討したい。</li> </ul>							

藤井寺市商工会

事業名		女性の活躍を推進する中小企業のためのセミナー							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	女性が、就職をしレベルアップ・スキルアップをして大きな戦力になり、活躍が期待されていても、結婚や出産に伴いやもなく離職する女性も少なくない。 近年働き方改革と言われているが、女性に対しても安心して働ける環境整備や働き方改革は必要であり、経営者や各担当者及び従業員の理解や協力が不可欠となる。 厚生労働省の政府統計によれば、男性より女性の入職・離職率は高い。また、うち入職者に占めるパートタイム労働者の割合が高くかなりのひらきがある。女性が就職から定年退職まで働ける職場・企業であるための体制をつくり、女性従業員の休業中の復職・離職者の再雇用または、新たに子育てを終えた中途採用も視野に入れ、女性正規登用の枠を広げ幅広い世代の女性活躍推進によるさらなる企業の発展と、高齢化社会と言われる現代だから次世代の女性活躍推進に結びつけたい。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の中小企業、小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】2020年11月17日 18:00~19:30 (質疑応答含む) 【場所】藤井寺市商工会 2F研修室 【内容】女性活躍法を理解し取組む事は、中小企業の持続的発展のために重要なポイントである <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府就業促進課 女性就業推進グループや「OSAKAしごとフィールド」と連携						
		②広域連携							
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足度	80
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーでは、女性の活躍が中小企業にとって大きな活力と生産性アップにつながる事、そのために女性が活躍できる働きやすい職場環境改善が必要である。現在の社会の中で女性の就業率は、企業評価にもつながる事について解説した。 また、職場環境の改善のために利用できる助成金についても説明した。							
		代表指標	アンケートで「改善する予定」「今すぐではないが改善したい」と答えた割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	改善する予定であるが、セミナーを受講して分かっていなかった事が沢山あった事に気づき、もう一度見直しを図ることができた。 助成金利用についても勉強できた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	働き方改革法が成立し近年よく耳にすることも増えてきたが、なかなか女性活躍推進法に関しては理解し取組む企業が少なく感じる。女性活躍推進法を理解し、女性が就職から定年退職まで安心して働ける職場・企業がを増やす体制づくりが、企業発展のために重要なポイントである事を広め、環境改善を実現にする取り組みが必要である。							

藤井寺市商工会

事業名		若手社員のために～労働環境改善セミナー～							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>新入社員のうち、3人に1人が3年以内に離職しているという現状において、なぜそれほど早く見切りをつけてしまうのか。大阪わかものハローワークが発表した離職転職状況では、3年以内離職者のうち特に3ヵ月～6ヵ月の間の離職が最多であるとのこと。離職原因の上位には、仕事に合わない、労働条件が違う等が占めており、興味を持って応募してきたはずの若者が自発的に辞めていくという悲しい状況がある。また最悪のケースとして、失踪や自殺等会社にとって大きなリスクを伴う結果となる場合もある。このような現状に対し、職場環境の改善や若手社員への支援体制強化が必要不可欠であり、採用コストの無駄や新たな人材確保の手間を減らすためにも考えるべき課題である。採用段階でのミスマッチを減らすことや社内コミュニケーションを活発にすること、やりがいを見出せることなど、若手社員採用から定着にむけて会社がすべき項目は多岐にわたるが、会社の将来のために、そのノウハウを専門家のもとセミナーを通じて理解していただく。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に中小企業主、人事担当者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和2年12月22日、藤井寺市商工会研修室にて実施。 市広報、商工会発行会員向けニュース、商工会窓口や掲示板等で参加募集を行う。 セミナーは全1回。時間は16時～17時30分。</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	セミナーの案内を藤井寺市の広報へ掲載させて頂いた。							
	④相談相乗	労働環境改善について考えることで課題が見つかり、労務支援等の相談事業との相乗効果が図れた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足度	87
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>人材不足や職場定着について問題を抱える企業が多い中、今回参加して頂いた事業所については、様々な視点から解決への糸口を見出せた。自己都合退職に隠れる退職理由の本音や、求人窓口で担当者が聞いている求職者の声など、実情を知れる内容であった。離職理由からわかる課題や労働者が求める条件について明確になり、それぞれの会社に合わせた労働環境の改善に取り組む姿勢がアンケートからも読み取れた。求人条件を変えてみることや、職員との会話を増やしてやること、給与水準など他社と見比べてみるなど、すぐに取り組めそうな対策から始めてみるなどの感想があったため、セミナー内容が参加者へわかりやすく伝わっていることが伺えた。</p>							
	代表指標	早期離職防止に向けた職場環境改善への取り組みを検討すると回答した事業所の割合							
	数値目標	70%	実績数値	71.0%	目標達成度	101.4%			
	成果の代表事例	<p>人材定着率の高い中小企業の取り組み事例を参考にしようと思った。 若年層との価値観や志向は40代以上と比べ大きく違うことを意識し、ワークライフバランスも考えていきたい。相談しやすい雰囲気作りを心掛ける。等、アンケート結果より</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今後も労務関係の課題について、ニーズに合わせた研修会等を企画したい。							

藤井寺市商工会

事業名		キャッシュレス次の一手セミナー							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	これまで商品代金決済は、現金精算以外の手法は考えられなかったが、交通系ICカードやスマートフォン端末を利用したキャッシュレス精算が広く浸透している。しかし、商店街や個店レベルではまだまだ活用されているとは言い難い。藤井寺市は小売・サービス業が多く、世界遺産登録された百舌鳥古市古墳群を目当てに国内外からの観光客も見込まれるため、これらの新たな顧客を獲得するツールとしてキャッシュレス化について、また既に導入している事業者に対してはより効果を上げるための知識を得る機会を提供する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	藤井寺市内の小売・サービス業を中心とした小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	QRコードを使ったスマホ決済サービスのご提案 【日時】2021年1月22日 16:00～18:00 【場所】藤井寺市商工会 2F研修室 【内容】キャッシュレス化のメリット・デメリットに加え、導入までの案内をする。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府のキャッシュレス担当部署と情報を共有し、制度や対処法を知ること、事業所が抱える疑問点の解消を図る。						
	②広域連携								
	③市町村連携	市広報に掲載することで市民に幅広く周知を図る。							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	10.0%	満足度	100%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	キャッシュレスには興味があるが、インターネット環境が整っていない為どう手続きをしたらよいかわからなかったという声を聞いていた。 今回のセミナーではキャッシュレスツールの導入を検討する企業と、地区の担当を繋げることができたので、インターネットを使う必要がない。キャンペーン情報なども紹介され、今まで導入したことのない事業者も導入のきっかけになった。							
		代表指標	アンケートで『理解できた』又は『導入する(する予定)』と回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	説明がわかりやすく、2021年夏までは無料で試せるキャンペーンもあるということで、キャッシュレスを導入することにした。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	インターネットやスマートフォンに対する苦手意識から、「キャッシュレスは難しそう」というイメージが強く、さらに新型コロナウイルス感染症の影響も加わり、集客に繋がらなかった。インターネット等に苦手意識のある事業主でも対応しやすい販売促進の手段を考えていくのが今後の課題である。							

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		2020年版働き方改革対応術							
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2018年6月に働き方改革関連法が成立し2019年4月から順次施行されているが、理解度は事業所ごとにバラツキがあるのが現状である。セミナーを実施することで事業主に今年までに施行された法律の理解度及び施策を促し、離職率の低下及び幅広い人材の確保につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の中小企業、小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】2020年10月19日 18:00～20:00 (質疑応答含む) 【場所】藤井寺市商工会 2F研修室 【内容】「働き方改革」を労務コストの増加する制度と捉えがちな中小企業に、本来の目的を解説する。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策	地域労働ネットワークと連携し、メールマガジン等で周知を図る。						
		②広域連携							
		③市町村連携	市広報に掲載することで市民に広く周知を図る。						
④相談相乗									
総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足度	80.0%		
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	当セミナーでは、働き方改革の三本柱である①長時間労働の是正、②同一労働同一賃金、③年次有給休暇の5日間の取得義務化、について法律家の視点から解説するとともに、それらが企業にもたらす効果について説明した。生産性が向上したことで業績が上がる事例も紹介した。							
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	例えば、同一労働同一賃金については過去の労務問題に関する判例を紹介し、どの程度の差までなら妥当といえるかとアドバイスも行った。							
		代表指標	アンケートで「理解できた」「改善する(予定)」と答えた割合						
		数値目標	70%	実績数値	80.0%	目標達成度	114.3%		
	成果の代表事例	非正規雇用の社員に正規雇用の社員と同じ業務をさせていたが、給与や待遇面の見直しを考えるきっかけになったと意見をいただいた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	働き方改革が社会に浸透したことから従業員は企業に職場環境の改善を求めるが、企業側は同一労働同一賃金をはじめとした働き方改革を実現することへの労務コスト増加に対する意識が根強く、今後は双方のギャップを埋める取り組みが必要となる。							